

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第9週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は2,093人（定点あたり47.6）で、前週比98%と横ばいであった。

前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

インフルエンザ・小児科定点からの報告

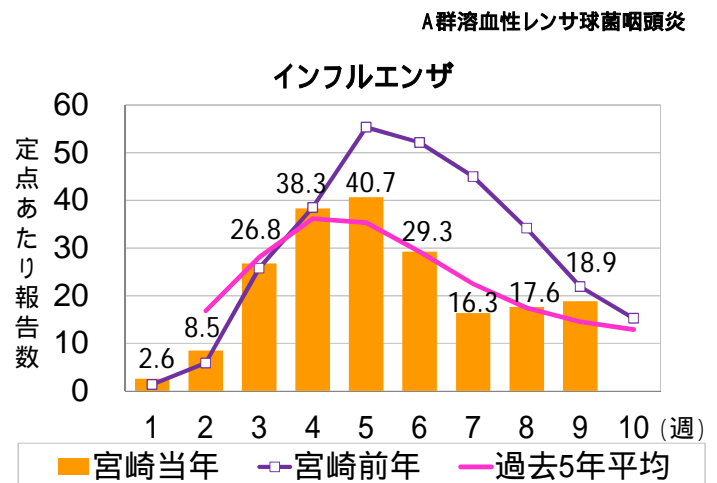
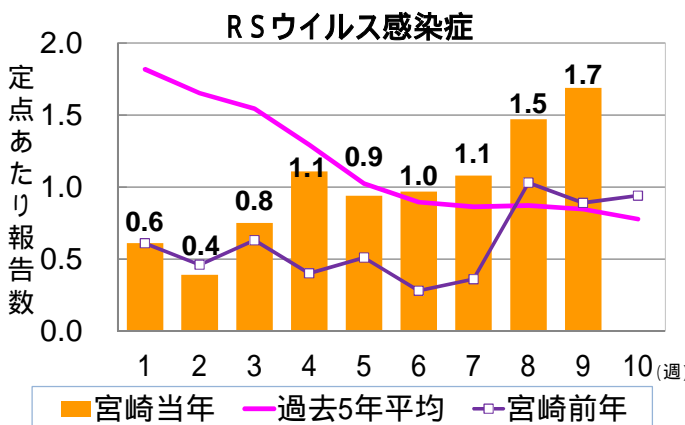
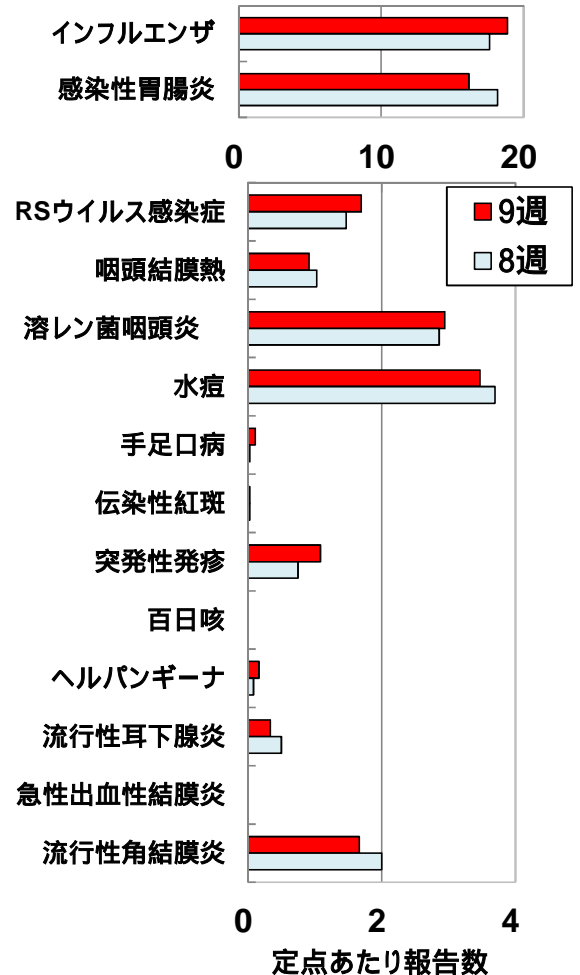
【RSウイルス感染症】

・報告数は61人（1.7）で前週比115%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（0.85）の約2倍である。日向（7.0）保健所からの報告が多く、年齢別では1歳以下が全体の約7割を占めた。

【インフルエンザ】

・報告数は1,113人（18.9）で前週比107%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（14.5）の約1.3倍である。小林（32.6）、日南（29.8）、延岡（24.7）保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の36%、6～9歳が19%、10～14歳が18%、15～19歳が3%、20歳代から50歳代が18%、60歳以上が6%を占めた。

（前週との比較）



基幹定点からの報告

マイコプラズマ肺炎：日南（1人）保健所から報告された。患者は9歳であった。

流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	感染性胃腸炎(21.5)
日南	感染性胃腸炎(26.3)、水痘(13.0)
小林	インフルエンザ(32.6)、感染性胃腸炎(33.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *

・インフルエンザ(30.0)

・感染性胃腸炎(20.0)

・水痘(7.0)

全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 7 例。
- 3 類感染症： 報告なし。
- 4 類感染症： 報告なし。
- 5 類感染症： アメーバ赤痢 2 例、ウイルス性肝炎 1 例、風しん 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	50 歳代	無症状病原体保有者	-
			70 歳代	肺結核	なし
			90 歳代	肺結核	咳
		延岡	60 歳代	その他の結核 (結核性リンパ節炎)	頸部リンパ節腫脹
			80 歳代	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
		日南	80 歳代	肺結核	咳、痰
		小林	40 歳代	無症状病原体保有者	-
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	30 歳代	腸管アメーバ症	腹痛
			70 歳代	腸管アメーバ症	下痢、粘血便、大腸粘膜異常所見
	ウイルス性肝炎	宮崎市	30 歳代	サイトメガロウイルス	褐色尿、発熱、肝機能異常、黄疸、咽頭痛、心窩部痛
	風しん	都城	10 歳代	検査診断例	発しん、発熱、リンパ節腫脹、咽頭痛、眼球発赤

病原体情報（衛生環境研究所微生物部 平成 25 年 3 月 3 日までに検出）

ノロウイルス検出情報

検出なし。（検査依頼なし）

全国第8週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は28.8で、前週比100%と横ばいであった。今週増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は6,931人(2.2)で、前週比132%と増加した。石川県(6.8)、鳥取県(6.0)、富山県(5.5)からの報告が多く、年齢別では4歳から6歳が全体の約半数を占めた。

水痘の報告数は4,041人(1.3)で、前週比123%と増加した。宮崎県(3.7)、沖縄県(3.5)、鹿児島県(2.8)からの報告が多く、年齢別では1歳から5歳が全体の約8割を占めた。

インフルエンザの報告数は68,661人(13.9)で、前週比85%と減少した。愛知県(28.1)、広島県(24.7)、鹿児島県(24.3)からの報告が多く、年齢別では5歳以下が28%、6~9歳が21%、10~14歳が16%、15~19歳が4%、20歳代から50歳代が23%、60歳以上が8%を占めた。

全数把握対象疾患(全国第8週)

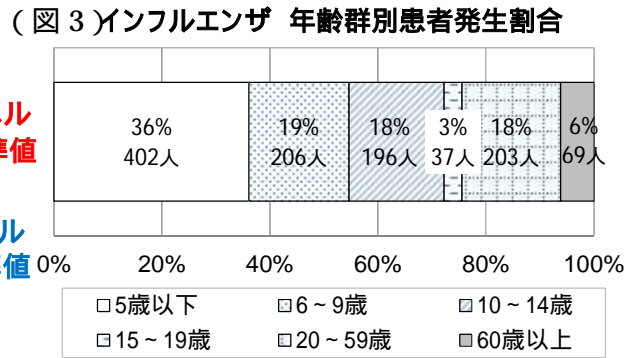
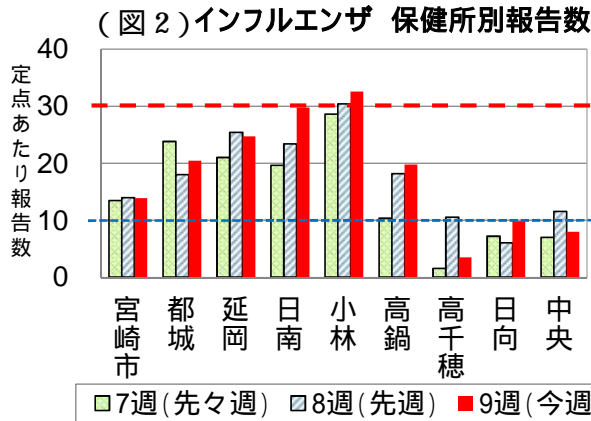
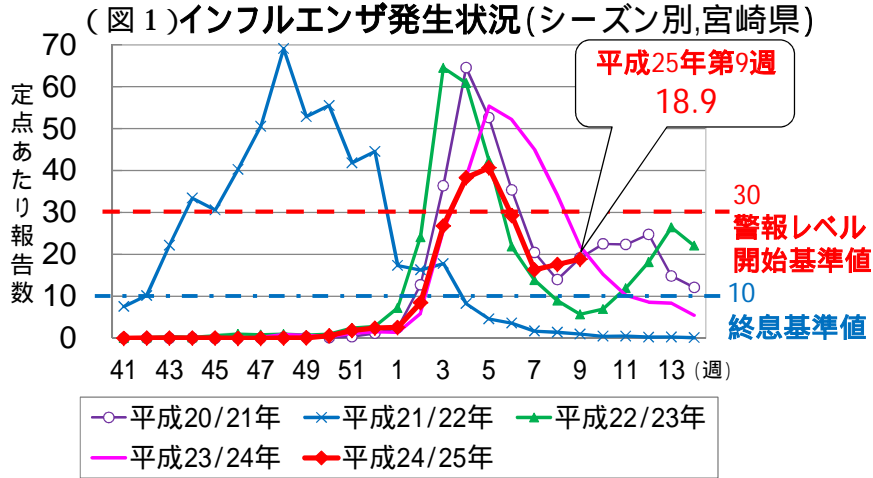
1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	359例				
3類感染症	細菌性赤痢	2例	腸管出血性大腸菌感染症	17例	腸チフス	2例
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	3例	つつが虫病	1例
	デング熱	1例	マラリア	2例	レジオネラ症	10例
5類感染症	アメーバ赤痢	11例	ウイルス性肝炎	6例	急性脳炎	2例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	15例
	梅毒	10例	破傷風	2例	風しん	219例
	麻しん	8例				

*風しん：東京都(78例)、埼玉県・神奈川県(各28例)、千葉県(24例)からの報告が多い。

インフルエンザ情報《県内第9週、全国第8週（再掲）》

県内9週インフルエンザ発生動向

平成25年2月25日～3月3日までの1週間で1,113人（定点あたり18.9）の報告があり、前週の約1.1倍に増加した（図1）。例年同時期の定点あたり平均値（14.5）の約1.3倍である。保健所別報告数を（図2）、年齢群別患者発生割合を（図3）に示す。



インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○:警報レベル、△:注意報レベル、-:警報・注意報レベルなし

保健所	今週 (9週)	1週前 (8週)	2週前 (7週)	3週前 (6週)	4週前 (5週)	5週前 (4週)						
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎県全体	18.9	○	17.6	○	16.3	○	29.3	○	40.7	○	38.3	○
宮崎市	13.9	○	13.9	○	13.4	○	22.6	○	39.5	○	39.1	○
都城	20.5	○	18.0	○	23.8	○	40.6	○	47.7	○	40.8	○
延岡	24.7	○	25.4	○	21.0	○	38.1	○	46.7	○	44.4	○
日南	29.8	○	23.4	○	19.6	○	26.6	○	30.0	○	22.2	○
小林	32.6	○	30.4	○	28.6	○	42.4	○	48.0	○	49.0	○
高鍋	19.8	○	18.2	○	10.3	○	27.2	○	44.7	○	46.2	○
高千穂	3.5	-	10.5	○	1.5	-	3.5	-	7.0	-	6.5	-
日向	9.8	-	6.0	-	7.2	-	24.0	○	41.7	○	36.2	○
中央	8.0	-	11.5	○	7.0	-	16.5	○	20.5	○	26.5	○

宮崎県全体:警報レベル終息基準値(10)を下回るまで警報レベル継続

保健所別 :当該週の定点あたり報告数のみにより注意報・警報レベルを表示

全国第8週インフルエンザ発生動向

平成25年2月18日～2月24日までの1週間で68,661人（13.9）の報告があり、前週比85%と減少した。愛知県（28.1）、広島県（24.7）、鹿児島県（24.3）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が28%、6～9歳が21%、10～14歳が16%、15～19歳が4%、20歳代から50歳代が23%、60歳以上が8%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2013年 第09週(02月25日～03月03日)

疾病名		第8週	第9週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1039	1113	222	205	173	149	163	119	7	59	16
	定点あたり	17.61	18.86	13.88	20.50	24.71	29.80	32.60	19.83	3.50	9.83	8.00
RSウイルス 感染症	報告数	53	61	5	4	13	3	1	6		28	1
	定点あたり	1.47	1.69	0.50	0.67	3.25	1.00	0.33	1.50	0.00	7.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	37	33	10	4	3	1	1	3		9	2
	定点あたり	1.03	0.92	1.00	0.67	0.75	0.33	0.33	0.75	0.00	2.25	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	103	106	17	13	17	14		14		29	2
	定点あたり	2.86	2.94	1.70	2.17	4.25	4.67	0.00	3.50	0.00	7.25	2.00
感染性胃腸炎	報告数	654	582	110	54	86	79	99	72	8	56	18
	定点あたり	18.17	16.17	11.00	9.00	21.50	26.33	33.00	18.00	8.00	14.00	18.00
水痘	報告数	133	125	40	12	13	39	6	8		7	
	定点あたり	3.69	3.47	4.00	2.00	3.25	13.00	2.00	2.00	0.00	1.75	0.00
手足口病	報告数	1	4			3	1					
	定点あたり	0.03	0.11	0.00	0.00	0.75	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	1	1								1	
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	27	39	15	6	5	4	1	4	1	3	
	定点あたり	0.75	1.08	1.50	1.00	1.25	1.33	0.33	1.00	1.00	0.75	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	6	3	1	2						
	定点あたり	0.08	0.17	0.30	0.17	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	18	12	5	4	1			2			
	定点あたり	0.50	0.33	0.50	0.67	0.25	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	12	10	10								
	定点あたり	2.00	1.67	3.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1				1					
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2013年第1週～9週)

2類感染症	結核	44例(7)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	8例			
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	4例	
	アメーバ赤痢	4例(2)	ウイルス性肝炎	1例(1)	急性脳炎
5類感染症	後天性免疫不全症候群	1例	梅毒	2例	破傷風
	風しん	3例(1)			1例

()内は今週届出分、再掲